

中間のまとめに係る区民意見に対する区の方針(障害者計画)(追加分)

	意見	区の方針
1	<p>高齢者にとりバリアフリーの街作りは重要関心事だが、実際に歩道は全く足の弱い人々にとり整備されていない。狭い歩道に必要と思い配置されているのだろうが、盲目者用の凸凹が時々はつまづく大きな原因となっている。(パブリック・コメント)</p>	<p>視覚障害者誘導用ブロックは、目の不自由な方のために設置してあるものです。その凹凸の形状は、足で認識できるよう規格が定められています。目の不自由な方にも利用しやすい道路とするため、ご理解をお願い申し上げます。</p>
2	<p>・傾斜した歩道、本当に安心して生活出来る様に考えているのだろうか？狭い歩道をマナーも規則も守らず猛スピードで走る自転車、禁煙を守らぬ人々、本当に安心して歩ける歩道に早くしてもらいたいものだ。(パブリック・コメント)          ・道のバリアフリーについて、歩道の様々な障害をなくし、歩きやすくしてほしい。(区民説明会)</p>	<p>文京区では、誰もが安心して利用できる道づくりを目指し、バリアフリーの道づくり事業を進めております。この事業は、障害者や高齢者等の社会参加を一層推進していくため、視覚障害者誘導用ブロックや坂道における手摺りの設置、歩道と車道の段差解消等を行っていくものです。その結果、歩道の傾斜も緩やかになり、車乗入部でも平坦になりますので、歩きやすい歩道となります。</p>